

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Orange			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 16日		～	2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児童発達支援：26名 放課後等デイサービス：40名	(回答者数)	児童発達支援：21名 放課後等デイサービス：31名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 16日		～	2024年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 18日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの児童に合わせた、柔軟な支援プログラム 各利用児童の特性や発達段階に応じ、支援やプログラムを柔軟に変えています。児童の様子や課題に合わせながら、個別対応、小集団対応など様々な形で活動を行っています。	児童の興味を引き出したり、気付きを与えたりするために、なるべく活動は固定化しないようにしています。児童の特性で変化に不安を感じる場合は、小さな変化から取り入れるようにしています。絵カード等の視覚支援を取り入れ、すべての児童がわかりやすく安心して活動できる環境づくりに配慮しています。	興味を引き出すプログラムの計画は継続していきながら、自発性も伸ばしていく支援も考えていきたいです。支援の幅がより広げられるよう、意見交換や様々な視点からの支援方法を取り入れていきたいと思っています。
2	様々な分野からの視点を活かした個別支援 児童福祉、障害福祉、保育等様々な分野の専門的視点から支援を行っています。療育における専門的な知識から、一人ひとりの児童に合わせた個別支援計画を立案し、共有・実施しています。発達障害や行動面での特性を持つ児童についても、全員で必要な配慮を共有しています。	事業所内の研修や療育技法の学習を強化し、新たな支援技法や最新の知見を取り入れています。児童の様子について、それぞれの専門的視点から必要な支援を意見交換するよう意識しています。	職員一人ひとりが療育や特性についてより知識をつけスキルアップを目指すよう、研修や外部との連携に積極的に参加できるようにしたいと思います。
3	支援の一貫性と保護者様との信頼関係 支援計画に基づいた一貫した取り組みをしております。児童の成長に伴う目標の見直しも定期的に行い、その都度お伝えするようにしています。また、保護者様への定期的なフィードバックや相談対応を通じて、信頼関係を築くようにしています。	支援目標を明確にしています。保護者様と目標を共有することで、家庭と事業所で連携して支援できるようにしています。	事業所内で実施していても、保護者様にまで実態が届きづらいことがあります。そのため、保護者様向けの情報発信を強化します。日々の支援内容や、イベントの内容やご様子を共有し、一緒に児童の成長や成功体験をフィードバックしていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報管理体制の不備 情報が個別の担当者に留まることがあるようです。今回のアンケートで浮き彫りになった課題の根底に、情報の発信・収集・共有不足が挙げられると考えます。	情報共有の重要性に対する認識不足 下記の振り返りや支援の疑問点などについても、自己完結してしまう傾向があるのかもしれない。業務の忙しさや、情報共有の重要性の認識不足が原因になっている可能性があります。	現在でも一週間に一度会議はしておりますが、再度情報共有の重要性を職員全体に共有します。情報を積極的に交換する場や時間を提供していき、より綿密に連携ができるようになります。他事業所との連携や地域行事の情報など、Orange内の取り組みだけではなく外部の情報も共有し、情報共有の意識が施設全体で常態化できるようにします。
2	支援終了後の振り返り不足 支援終了後の振り返りや、支援の評価が十分に行えていないと感じる職員が多い結果となりました。児童のわかりにくさや活動に必要な配慮、支援の効果、課題などを正確に判断するためにも、早急な改善が必要と考えます。	振り返りの時間不足 支援終了時の振り返りの重要性を認識できておらず、後回しになってしまっているのかもしれない。支援の質の維持ではなく、向上を目指すためにも、フィードバックは必要と考えます。	支援後は必ず支援の振り返りの時間を作るよう職員へ呼びかけ、振り返りの時間が確保できるよう体制を整えます。その日の支援を評価する中で、どのような支援が効果的だったか、改善が必要な部分はどこかを共有します。そして、次の支援へつなげ、支援の幅を広げたり、より高い質の支援ができるようにします。
3	家庭支援の不備 子どもたちの生活の基盤はご家庭です。Orangeの中だけではなくご家庭や日常生活、お子様もご家族も安心して過ごせられるのが最も重要と考えています。ご家庭と連携した本人支援は常に意識しておりますが、ご家庭への支援にまでは行き届いていない現状があります。	療育の成果の見えづらさ ご利用の際には活動報告書を入れさせていただいていますが、特にご都合で会うことが難しい保護者様には文書でのみのご報告となってしまっている現状があります。保護者様からお子様の成長が実感しづらかったり、我々も保護者様の新しいお悩みが気づくのが遅くなってしまっている懸念があります。	Orangeの職員を対象とした事業所内研修で、保護者支援の重要性やそのために必要な基礎知識について全体共有しています。ご都合で送迎の際に会うことが難しい保護者様に対しては、定期的に電話でお話を聞けるよう体制を整えたいと思っています。ご本人はもちろんですが、ご兄弟でも気になる様子があれば一緒に考えていきたいと思っています。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Orange

公表日 2025年2月17日

利用児童数 2024年 12月 31日現在 26名

回収数

21名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21(100%)					大きな部屋を3部屋用意して対応できていることがあり、高評価になったと考えています。現状に満足せず、更に有効活用できる方法を検討していきます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15(72%)	1		5		わからないという意見があったことを踏まえて、職員数の発信力が足りないように感じています。書面等を通して、職員の紹介も今以上におこなっていきたくと考えています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19(90%)				2		入口を入ったらずぐに階段になっているため、バリアフリーとは言い難い状況があります。事業所の活動場所は段差がなく、学習室や訓練室等場所に合わせて活動も変えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19(90%)	1			1		午前の児童発達の終わりと、午後の放課後デイの終わりと、1日2回掃除をして環境の整備に努めています。今後もきれいな空間を保てるように掃除と消毒の徹底に取り組んでいきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21(100%)					現状の評価に満足せず、継続して職員の専門性を高める研修等をおこない、児童の支援に努めていける様に努めています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20(95%)				1		既存の支援プログラムにのっとり取り組みを進めていますが、児童の成長に応じて、より適切な支援の組み立ても忘れずに取り組んでいきます。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20(95%)						計画の作成にあたって、保護者や児童の困りごとについて、懇談だけでなく、普段の様子からも組み上げて、計画に取り入れていくことも、継続して行っています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17(85%)	2			1		3つの項目の評価についても、達成度や次回の目標を懇談の際に説明するようにして、より具体的な支援の説明と展開ができるように、とろくみを進めます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19(90%)	1			1		計画を通して、長期目標、短期目標を決めて取り組みを進めています。本人の成長に応じて、取り組みの内容の変更も保護者さまと懇談で話し合っていて決めています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19(90%)						課題の順番を変えたり、季節の行事も取り入れて、固定化しないように努めています。今後も、工夫している部分について、書面や懇談を通して発信を続けていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9(42%)	3	1		8		実際に交流があった取り組みについては、保護者様に発信を行い、周知できるように努めています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20(95%)					契約の際に説明を行うように努めています。今後も継続して丁寧な説明を行い、契約後でも、不明なところがあれば補足もできるように取り組んでいます。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19(90%)		1		1		計画の作成後は、直接会って説明をしています。ご都合でお会いできないときは、電話でのご説明をしています。説明に不足がある時は、改めて電話や会話を通じての説明もおこなっておりますが、お問い合わせしやすいよう整備を行います。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10(46%)	1	4		6		研修の機会があれば、その都度保護者様へお知らせできるようにいたします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	19(90%)	2					連絡ノートや送迎時の聞き取りを通して、体調や近況のことを聞くこと、また、活動の様子についても、共有できるように取り組んでいます。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17(81%)	3		1		半年に一回の懇談の機会だけでなく、定期的にご様子をお伺いして、必要があれば、助言を行うようにしています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20(95%)			1		保護者様やお子様のご要望に沿った支援に努めています。現状に満足せず、これからご家族の方々と一緒に取り組みを進めていきたいと考えています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9(42%)	2	4	6		父母会の開催や兄弟間交流については、積極的に進められていない現状があります。必要に応じて、交流を持つ機会を作っていくように検討していきます
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19(90%)	2				相談や申し入れがあったときには、事業所間で検討と即時の対応をおこなっています。より満足度を上げたい様に、今後もよりスピード感をもって対応できるよう、職員全員の意識を高めます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18(86%)	2		2	LINE等、即時連絡ツールの活用が検討されると有難いです。	現状、携帯電話でのショートメッセージ、Eメールの活用をおこなっています。即時連絡を取り合える方法やシステムを考えて、保護者さまに発信して、改善を進めていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19(90%)	2				ホームページやスタッフブログを通じて、発信をしています。周知して、見て頂けるように、今後も月だより等の案内を通して伝えていくようにします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18(86%)			3		配布した書類に別の児童のものが混入している等のミスが3件ほどありました。ヒヤリハットの活用や配布前の二重チェック等で対応していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18(86%)	1		2		感染症等については感染症が流行しやすい月に衛生だよりを配布することを検討します。他のものについても、事故があった際の対応方法や連絡手段、防犯についての発信など、おたよりで適宜行っていきます。
	24(80%)	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17(81%)	1		3		月だよりやHPのブログ等で訓練実施の発信をしていきます。すべての曜日で実施できるよう計画していきます。
	25(84%)	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19(90%)	1		1		避難訓練を実施する予定月の前に、月のおたよりで周知いたします。
	26(87%)	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17(81%)	1		3		直接保護者様へ説明できない場合は、活動報告のプリントやノート等へ記載します。説明が漏れていた場合はヒヤリハットとして扱い、わかり次第連絡します。
満足度	27(90%)	子どもは安心感をもって通所していますか。	21(100%)					
	28(94%)	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18(86%)	3				療育の成果を自宅へ持ち帰っていただくなど、orangeでの頑張りをお家の人に見てもらったり、ご家庭に繋げたりすることで、通所を楽しみにしてもらえるよう取り組みを考えます。お子様自身がOrangeでの困りごとがないか様子を見たり、適宜聞き取りを行い気持ちの配慮を行います。
	29(97%)	事業所の支援に満足していますか。	20(95%)					先生方は皆さんとても優しく、細やかな支援をしてくださっております。また夏祭りやハロウィン、クリスマスなどイベントではとても楽しい催しをしてくださり、子供も喜んでおります。いつもありがとうございます。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Orange

公表日 2025年2月17日

利用児童数 2024年 12月 31日現在 40名

回収数

31名

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26(87%)	3		1		行事や余暇活動は広いスペースを使う等、閉塞感のないよう活動場所の配慮を行います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28(94%)			2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26(87%)	2		2		事業所がビルの2階にある構造上完全なバリアフリー化はできずにいます。事業所内は段差がなく、すべての児童が安心して過ごせるよう配慮しています。4部屋あるため活動場所の写真や掲示を行い、活動場所が児童から見てわかりやすいよう配慮します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29(97%)	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29(97%)			1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30(100%)					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30(100%)					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29(97%)			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29(97%)			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28(94%)			2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	17(57%)	5		8		
保 護 者 へ の 説 明	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30(100%)					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28(94%)			2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18(60%)	2	1	10		保護者様を対象にした研修や情報提供ができるよう体制を整え、ご家族との理解や協力を深められるようにします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	28(94%)	2				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26(87%)	2		2		送迎時や連絡ノートを活用し、保護者様とより密な情報共有を行います。児童の心身の発達に合わせて、保護者様と一緒に不安を解消する方法を考えていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29(97%)	1		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13(44%)	4	3	11		

等	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24(80%)	1		5	相談や申し入れがあった際に、必要に応じて関係機関を紹介できるよう職員全体の知識をつけていきます。相談や申し入れを受けた後どのように対応したかやその後の見通し、ご家庭の様子などを情報共有し、安心して気軽に相談できる事業所づくりに努めます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28(94%)	2			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27(90%)	2		1	月のおたよりやホームページのブログで情報の発信をおこなっています。おたより配布の際に説明し、保護者様がおたよりを見落としお困りにならないよう配慮いたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29(97%)	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26(87%)	2		2	感染症等については感染症が流行しやすい月に衛生だよりを配布することを検討します。他のものについても、事故があった際の対応方法や連絡手段、防犯についての発信など、おたよりで適宜行っていきます。
	24(80%)	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26(87%)	1		3	月だよりやHPのブログ等で訓練実施の発信をしていきます。すべての曜日で実施できるよう計画していきます。
	25(84%)	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28(94%)	1		1	
	26(87%)	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25(84%)	3		2	直接保護者様へ説明できない場合は、活動報告のプリントやノート等へ記載します。説明が漏れていた場合はヒヤリハットとして扱い、わかり次第連絡します。
満足度	27(90%)	子どもは安心感をもって通所していますか。	30(100%)				
	28(94%)	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27(90%)	2		1	療育の成果を自宅へ持ち帰っていただくなど、orangeでの頑張りをお家の人に見てもらったり、ご家庭に繋げたりすることで、通所を楽しみにしてもらえよう取り組みます。お子様がorangeでの困りごとがないか様子を見たり、適宜聞き取りを行い気持ちの配慮を行います。
	29(97%)	事業所の支援に満足していますか。	30(100%)				アンケート結果を事業所内で共有し、支援内容や連絡の潤滑性をみなおし、さらなる満足を目指して改善を進めていきます。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	Orange		公表日		2025年 2月 17日	
環境・体制整備	チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		指導訓練室を1つ、多目的室を2部屋用意しております。多目的室も1部屋6名前後の児童が利用できるスペースがあり、利用児童全員が余裕をもって活動できるよう配慮しております。児童の年齢や発達段階に合わせたグループニングもおこなっております。	保護者、職員ともに非常に高い評価を得られています。今後も継続して、スペースの改善や構造化などを図っていきます。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		通常は10名定員の事業所に2名配置なのですが、個別、小集団療育の実施のため、平均5名以上の職員を配置しています。	非常に高い評価を得ており、児童の状態に応じて個別対応ができる体制も整っています。今後はより力をつけて、児童の特性に応じた柔軟な職員配置や、より幅が広く質の高い支援を提供できるよう努めます。児童発達支援ご利用の保護者様からは職員の配置数についてわからないというお声もたくさんいただいたので、改善いたし	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	△		訓練室や各指導室は目的に合わせ備品や教材が備えられており、各児童に合わせて課題、時間、スケジュールなどをわかりやすく提示しています。余暇時間、学習時間等場面に応じて部屋を使い分けており、児童に活動がわかりやすいよう構造化を図っています。	事業所がビルの2階にある設計上完全なバリアフリー化が難しい状態です。事業所内は段差がなくすべての児童が安心して過ごせる環境を意図しています。今後も可能な限りのバリアフリー化や構造化を図りながら、安全な動線の整備や視覚的にわかりやすい部屋分け、設備の充実を目指します。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の掃除に加え、必ず次亜塩素酸ナトリウムやアルコールによる除菌、殺菌消毒を行っています。事業所内で衛生研修の実施や、感染症の対応の周知等を適宜行っており、職員の意識向上に努めています。	保護者、従業員ともに高い評価を得ています。今後も継続して環境整備をし、適宜改善していきます。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		事業所内に個室があり、児童から相談があった際に配慮ができるよう環境整備しています。体調不良の児童がいます場合も、個室で静養がとれるよう配慮しています。個別にケアができるよう、職員数も基準を上回る人数配置しています。	部屋数の多さや広さを活かし、児童一人ひとりに応じた個別対応等も積極的に行っています。保護者、従業員ともに高い評価を得ているため継続していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		週に1度会議を行い、保護者からの相談や児童の様子に対する共有、取り組みの経過報告などを行っています。その日毎や取り組みの際の児童の様子を職員間で共有しています。	適宜個別支援計画や専門的支援計画を振り返りながら、達成状況の確認や支援、目標設定をしていますが、より密に行っていきます。支援について保護者から高い評価を得ており、従業員の評価も高いため今後も継続してい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	△		保護者の評価を見やすくグラフ化して、結果について職員全体で話し合う時間を設けています。児童の支援についての意見だけでなく、環境についても教材や空間など清潔に保てるように業務の改善に努めています。	評価が芳しくない項目については職員間で共有し、業務の改善を図れるように取り組んでいます。児童が安全で安心して利用のできる施設を維持できるように取り組んでいます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		週に一度の会議やビジネスチャット、定期的な経営者面談、施設長面談を行い意見のくみ上げを行っています。	すべての職員が意見を出しやすい環境づくりを継続していきます。高い評価を得られているため今後も継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	△		西延末、青山事業所と連携を取りあい、評価結果や改善点を相互評価しています。	Orange3施設だけではなく、他の障害児通所児童との交流や情報共有をしていながら、外部評価をしていただく機会を作っていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修に関する発信はもちろん、法人内でも新任研修・中堅職員研修・リーダー研修に加えて、自由参加の勉強会を行い、常に新しい知識や技術を習得できるようにしています。	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、他事業所と相互で内容が適切かどうか等の評価をしてから、ホームページにて公表しています。	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます。	
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントをもとに、保護者様から直接聞いたお話しやご本人の様子をあわせて計画を立て、事業所全員で確認してから仮作成。保護者様に確認し、同意いただいたうえで作成しています。	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます。	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画の作成にあたっては事業所全員に確認してもらい、意見交換をしたり、目標や児童に必要な支援の共通理解をしたうえで計画を作成しています。	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきますが、はいという評価が全員ではなかったため、一部職員に周知徹底ができていなかったものと思われる。改善していきます。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に関しては必ず職員全員が確認したうえで計画に沿った支援を行えるようにしています。支援計画の達成状況も、会議や職員間の情報共有で確認をしています。	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきますが、はいという評価が全員ではなかったため、一部職員に周知徹底ができていなかったものと思われる。結果を重く受け止め、今後も職員間で計画の共有や支援内容の振り返りをより綿密にして質の向上を目指し	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		全児童対象ではないが、評価ツールは必要に応じて他事業所の言語聴覚士と連携して実施しています。インフォーマルなアセスメントについては日常の行動観察や記録などを行うケース記録を必要に応じて作成しています。	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービス計画の書式に「本人支援」「家族支援」「移行支援」の項目を作り、必ずそれに沿った支援内容を示せるようにしています。児童発達支援の計画書もその書式に準じて作成しています。	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	△		毎月の行事などの活動プログラムは企画チームを作り、季節に合わせた行事を提供できるようにしています。起案書を作り、事業所全体で共有してから行っています。	チームだけでなく、事業所内で意見交換して行事の質を向上させたり、新しいものを取り入れたりとできるよう改善します。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		当事業所の様子のみではなく学校や他の事業所、ご家庭での様子などの聞き取りを行っています。お子様の心身の健康やそれぞれの場所での様子を確認しながら、児童に応じて個別活動と小集団活動を組み合わせて計画して	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		児童の能力や課題に応じて、小集団の活動を取り入れること、また、個別の課題を集中して取り組めることを、計画に載せて、進めている状況になります。また、保護者懇談にて、取り組みの進め方についても話をしながら、情報を共有して進めるようにしています。	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		職員同士の連携のために、ビジネスチャットのみではなくその日の役割分担について動向表を作成し、必ず当日の支援体制やチームの他の職員の動きについても全員が意識して支援にあたっています。個別だけではなく小集団のチーム分けもしており、チーム内でプログラムの検討や1日の流れを計画するようにしています。	一人ひとりの動きが全員で共有できるよう、事前に動向表を作成し、職員にも確認するよう周知しております。全員が支援前に確認しているため、支援内容の確認や役割分担、チーム連携は当然行われています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		打ち合わせという名前にはしていませんが同じ小集団で関わった職員同士で振り返りを行っています。お子様の様子や課題に応じて、次のプログラムを組み立てています。いつでも相談ができるようビジネスチャットを全ての職員に開示しておりチームで振り返りしています。必要なものや緊急性の高いものは即時全員に共有しています。	支援終了後に疑問点や困ったことがあれば相談、当日一緒に行動した職員との打ち合わせは当然に行われているはずのものが、できていない職員が多くおりました。結果を重く受け止めております。アンケートの結果を職員間で共有し、より密な情報共有や振り返りを職員同士で意識していきます。より充実した支援が提供できるよう、情報共有や支援の振り返りの大切さを再度通知し、改善に努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々のケース記録や専門的支援実施記録、業務日誌など毎日の記録をつけ、支援を振り返れるようにしています。	記録はあり、作成もしているため、関わる職員は適宜記録を確認するよう再周知徹底します。非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		適宜モニタリングを行い支援計画を見直しています。	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます。より高い質の支援を目指します。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4(55%)つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		計画の中に基本活動を取り入れています。自立に向けて日常生活の充実のための活動、季節に合わせた製作や療育の成果を形にする創作活動、外出やイベント参加などの地域交流、子どもたちが主体的に参加できる活動や様々な遊びを提供しています。興味に偏りがある子は、興味の幅を広げ余暇が広げられるよう計画しています。	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をす力を育てるための支援を行っているか。	○		自己選択、自己決定の力を育てることについては支援を行う上で基礎知識として徹底しています。子どもたちが自分らしく生きられるよう、自己選択や自己決定の重要性を職員一人ひとり共通認識しています。	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議の時間帯により参加できないこともありますが、できるだけ状況を理解していたり、児童理解が深い職員が参加できるように体制づくりをしています。	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関との連携については日々行っています。特に保育機関や学校、障害福祉との連携について密に行っています。	今後も密に連携していきたいと思います。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		こちらから積極的に連絡調整や確認を行っています。学校や保護者様から直接ご連絡をいただくことも増えてきて、よりスムーズに調整できることが増えてきました。	非常に高い評価を得られているため、今後も密に連携していきたいと思います。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者様や障害福祉事業所から、各事業所での取り組みやご様子の情報提供をいただいています。保育施設や障害福祉サービス事業所と足並みを揃えながら、必要に応じて行っています。	非常に高い評価を得られているため、今後も密に連携していきたいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要やご要望に応じて情報提供を行っていますが、多くは障害福祉サービス事業所や保護者様を通じての情報提供をしています。卒業後もご連絡やご相談のあったお子様に対しては、卒業後も徹底してサポートや情報共有を行っています。	事業所展開に伴う人員異動などで、高校卒業まで利用されたお子様やその後の対応について知らない職員も増えてきました。現状行っている支援は継続しながら、職員にも周知徹底していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターとの連携については不十分どころがあります。他事業所へのスーパーバイズは行っており、実際に現場に入りながら支援の助言や連携を行っております。	児童発達支援センターとのつながりは希薄なため、研修の参加等を検討していきたいと思います。他事業所へのスーパーバイズも行っているのですが、そのことについて知らない職員が多い結果となりました。再度周知いた
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	△		地域イベントやお祭りなどに参加し、他の子どもと一緒に活動する機会を設けたり、地域とのつながりやを感じられる活動ができるようしています。地域の方のご協力をいただき、収体験なども取り入れています。平日は公園など屋外施設へも出かけ、他の子どもと一緒に空間で遊ぶ活動もしています。	保護者、従業員ともに意見がわかる評価となりました。結果を重く受け止め、地域のイベントやお祭りなどの情報は職員間で共有し、多くの子どもたちが地域行事に参加できるよう改善します。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		協議会への参加はこれまではできていませんでしたが、今年度から参加することになりました。	今年度から参加したいと思います。職員にもそのことを周知し、共有しております。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時だけでなく、電話、メールでもお子様の発達や成長についてのお話をできるように徹底して心がけております。直接お話しすることが難しい場合は連絡ノートを活用し、情報交換や共有をするようにしています。	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	△		全児童対象ではありませんが今年、試験的に保護者様向け研修会を行いました。送迎時やお電話でお話をお受けした際にも助言や支援をさせていただいています。	家族支援についてできていないと感じている職員が多く、保護者様からも支援の実感を得られていない結果となりました。家族支援について意識を徹底し、再度施設内の体制を見直し改善します。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際、重要事項についてご説明しています。支援プログラムはいつでも、どこでもご確認いただけるよう、ホームページにて常時公表しております。ご不明な点があればいつでもお問い合わせいただけるよう保護者様へお願いし、ご質問があった場合は早急に職員間で共有し確認を行っています。	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		ご家族やお子様の要望にお応えできるよう、事業所内の教員免許所有者、保育士、実務経験10年以上の支援員などが連携して意見交換しています。また、他事業所に所属している言語聴覚士、理学療法士なども連携を行い、お子様のわかりにくさや困りごとに寄り添いながら課題調整を行っています。	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		必ず保護者様に計画を確認していただき、同意のサインをいただいでから支援の提供を行っています。	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		半年に一度の面談で、保護者様から直接聞き取りを行っています。それ以外にも送迎時や、お電話でお話をお受けした際にはその場で助言を行ったり、早急に事業所内で検討し支援の方向性の修正・確認を行っています。	職員の評価は高かったのですが、保護者様からの評価は80%程度となりました。結果に差が出てしまっていることは重く受け止めて、保護者様への安心と満足につなげられるよう、ご相談いただいた内容に対し早急にお返事できるよう改善します。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		今年、卒業した児童のお母様にご協力をいただき、普通学級の児童の進学の悩みを相談する交流会を実施しました。今後対象を広げ、希望される方が参加できるよう内容を検討していきたいと思ひます。	父母会の開催については個人情報保護の関係で積極的に取り組めていない現状がありました。父母会の実施については検討していきながら、兄弟への支援も強化していきたいと考えています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に重要事項説明書にて、苦情窓口のご説明をさせていただいております。申し入れがあった際には迅速な対応を心がけております。	苦情があった際は施設内で迅速に共有し、早急に対応できるよう改善していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページや予定につきましては毎月更新しておりますとともに、月に一度活動報告のおたよりを配布しております。	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については鍵付き書庫にて保管されており、必要時のみ使用としています。個人情報保護の観点から、見学の案内の際に、児童が利用していない時間帯でのご協力をお願いしております。	保護者様からは80%程度の満足度となり、職員の考えと差が出てしまいました。実際、配布した書類に別の児童のものが混入している等のミスが3件ほどありました。結果を重く受け止めて、全体で個人情報を保護する意識をより強化し、体制を見直しします。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		伝え方の工夫や情報伝達の方法について、送迎時のお話しやメール、お電話、連絡ノートでのやり取り、写真付き連絡帳で活動の様子をお伝えする等、情報伝達については徹底しております。	すべての職員が「出来ている」という結果に至っていません。保護者様から80%程度の満足度となっており、連絡ツールについての要望もいただいています。情報伝達や意思の疎通について早急に体制を見直し、保護者様やお子様にとってわかりやすく、安心してご利用できるよう
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域行事やイベントへの積極的な参加はしておりますが、障がい特性や個人情報保護の関係で、地域住民の招待というところまでは難しい現状です。	安全保護と児童の特性を踏まえ、現状では困難かと思ひます。保護者様からご要望があり、必要性があれば検討したいと思ひます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		Orangeには各種マニュアルが備え付けられており、定期的に各マニュアルにもつづいた研修を行い職員に周知徹底しております。また、必要であればいつでもご覧いただけるようにしています。	いつでも見られるように事業所にわかりやすく備え付けてあります。今後も継続して、適宜周知を行います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		避難訓練は消防に届け出を出し、年に3回実施しています。その他訓練につきましても定期的に行っています。	避難訓練のみでなく、様々な非常災害の訓練や災害時対応のための防災研修も行っていきます。役割分担もその都度変更し、災害が起こった際に必要な動きをすべての職員が把握できるようにしています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントシートに項目をつけ、保護者様に聞き取りを行っています。服薬が必要な行事などの際には、再度情報収集を行い服薬状況に変わりがないか確認させていただいております。また、活動中での様子から、適宜服薬状況や健康面に変わりがないか確認を行っています。	非常に高い評価を得られているため、今後も継続していきたいと思ひます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	△		基本的には事業所で食事を提供せず、おやつのみを提供しています。おやつもお子様に選択して選んでもらうため、保護者様を通じて医師の指示を聞くという形で対応していることがほとんどです。	保護者様からの自己申告を中心としており、医師の指示書の確認まではしていません。今後直接指示書をもらう必要性が出てきた場合、検討はしていきたいと思ひます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的な研修と訓練を行っています。会議でも安全管理について定期的に発信し、全職員に周知徹底しています。	非常に高い評価を得られているため、今後も継続していきたいと思ひます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		災害時安全確保のための避難計画を市役所に提出しています。安全確保について定期的に保護者様に説明し、了承をえています。	周知徹底を行い、職員も保護者様も確認できるよう改善します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットについて、年1度の研修を行っています。ヒヤリハットの事例が起こった場合は全員に回覧し共有、再発防止に取り組んでいます。	今後も継続しておこないながら、より密に情報共有を行い、ヒヤリハットの再発防止に努めます。

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待防止研修を年に1度行っています。制度の説明だけではなく、虐待がなぜ起こるのか、現場意識と保護者支援の観点から踏み込んだ内容の研修を行いました。職員全員で虐待防止の意識をもつため、事業所内での情報共有や、保護者様からの聞き取り等を積極的に行っています。お子様に外傷や様子の異変があった場合すぐに共有し、お子様の安心や安全を最優先にしています。	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	計画には必ず身体拘束についての一文を入れさせていたでいます。非常時の身体拘束について保護者様にも説明させていただいています。	非常に高い評価を得られているため今後も継続していきます。定期的にご説明しているので、週宜周知いたします。